

第 56 回燃焼シンポジウム講演論文集原稿 (和文題目)

- 執筆要領 (和文副題) -

Manuscript for the Proceedings of the Fifty-Sixth Symposium (Japanese) on Combustion (English Title)

- Formatting Specification (English Sub-title) -

大阪 花子¹・浪速 太郎^{1*}・梅田 二郎¹・難波 花江²・堺 三郎²・KANSAI, Kazuo³
OSAKA, Hanako¹, NANIWA, Taro^{1*}, UMEDA, Jiro¹, NAMBA, Hanae², SAKAI, Saburo², KANSAI, Kazuo³

¹ 大阪公立大学大学院工学研究科 〒599-8531 堺市北区学百舌鳥町 1-1
Osaka Public University, 1-1 Mozucho, Kita-ku, Sakai, Osaka 591-8032, Japan

² 関西ガスエネルギー技術研究所 〒554-0031 大阪市此花区梅島 6-19-9
Kansai Gas Co., Ltd., 6-19-9 Umeshima, Konohana-ku, Osaka, Osaka 554-0031, Japan

³ Osaka Public University, 1-1 Mozucho, Kita-ku, Sakai, Osaka 591-8032, Japan

Abstract : This is the instruction to authors for manuscript preparation for the 56th Symposium (Japanese) on Combustion. The abstract should consist of one paragraph, less than 150 words. The abstract should state briefly the purpose of the research, the principal results and major conclusions. In this study, effects of the unburned gas temperature and the equivalence ratio on the burning velocity of the methane / air mixture were investigated experimentally. A Bunsen burner of 19 mm inner diameter was used, and the burning velocities were obtained by the so-called "angle method". The mixture flow rate was fixed at 24 L/min. Experimental results showed that the burning velocity took its maximum of 38 cm/s at $\phi = 1.05$. This result clearly indicated that the maximum burning velocity of methane / air mixture was slightly less than that of the propane / air mixture which was obtained in our previous work. (148 words)

Keywords : List up to a maximum of five keyword entries, Combustion, Flame, Burning velocity

1. 緒言

第 56 回燃焼シンポジウムの講演論文集原稿は、この執筆要領にしたがって御作成下さい。

2. 内容

シンポジウム参加者が研究の内容を十分に理解できて、討論に参加できる内容の原稿をお願いします。また、主要な研究成果は必ず原稿に記載して下さい。

3. 講演題目・著者

講演題目、著者（講演者、および著者順序も含む）の変更は認められておりませんので、**講演申込時と同一として下さい。**

4. 用紙設定

原稿の余白はそれぞれ、以下の通りに設定してください。
上：25 mm，下：15 mm，左：16 mm，右：16 mm
講演論文集はモノクロ印刷です。原稿の文字は必ずモノクロ（白黒）にして下さい。図（写真）はモノクロ印刷でも明確なものをご使用ください。

5. 原稿ページ数

原稿のページ数は、2 ページです。超過や不足の場合には、受け付けずに返却いたしますので、御注意下さい。

6. 印刷

提出して頂いた原稿を、そのままオフセット印刷します。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8
9 0
- 全角 2 8 文字 -

7. 原稿書式

次の書式を基本設定として下さい。

フォントサイズ：9 ポイント

和文フォント：明朝体またはこれに準じるフォント

数字・欧文フォント：Time New Roman, またはこれに準じるフォント

行間隔または改行幅：11 ポイント（固定）

文字間隔または字間：標準（Word），1 ポイント（一太郎）
句読点は、「，」カンマ「。」ピリオドとして下さい。

7.1. 題目

和文題目は、次の書式として下さい（英文原稿は除く）。

フォントサイズ：11 ポイント

和文フォント：ゴシック体またはこれに準じるフォント

数字・欧文フォント：Arial 体またはこれに準じるフォント

行間隔または改行幅：16.5 ポイント（固定）

配置：左寄せ

副題のある場合は、和文題目の次の行に、和文副題を半角のハイフンと空白とはさんで、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ：10 ポイント

和文フォント：ゴシック体またはこれに準じるフォント

数字・欧文フォント：Arial 体またはこれに準じるフォント

配置：左寄せ

英文題目は、和文題目から半行（行間隔または改行幅：5.5 ポイント）あけ、Main words の最初の文字のみ大文字として、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ：10 ポイント

数字・欧文フォント：Arial 体またはこれに準じるフォント

配置：左寄せ

副題のある場合は、英文題目の次の行に、英文副題の Main words の最初の文字のみ大文字として、半角のハイフンと空白とはさんで、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ：9 ポイント

数字・欧文フォント：Arial 体またはこれに準じるフォント

配置：左寄せ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8

7.2. 著者

7.2.1. 著者名

和文著者名は、英文題目から 1 行（行間隔または改行幅：11 ポイント）あけて、次の書式で記載して下さい（英文原稿は除く）。

フォントサイズ： 9 ポイント
和文フォント： 明朝体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント： Time New Roman またはこれに準じるフォント
配 置： 左寄せ
姓名の区切（和名）： 半角空白
著者間の区切： 「・」（中丸）

ただし、英文表記の著者名が含まれる場合は、その著者名は姓、名の順で、姓は全て大文字、名は最初の文字のみを大文字として、姓名の区切にはカンマと半角空白とを入れて下さい。

著者の所属機関を示すために各著者名の右肩に数字（半角上付、通し番号）を、著者が複数の場合には講演者を示すためにその著者名の右肩に「*」印（半角上付）を、それぞれ付して下さい。

英文著者名は次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 8 ポイント
数字・欧文フォント： Time New Roman またはこれに準じるフォント
配 置： 左寄せ
著者名： 姓、名の順、姓は全て大文字、名は最初の文字のみを大文字
姓名の区切： カンマと半角空白
著者間の区切： カンマと半角空白

また、所属機関、講演者を示すための数字、印も、和文著者名と同様に付して下さい。

7.2.2. 著者所属機関

各著者の所属機関とその住所は、英語氏名から 1 行（行間隔または改行幅：11 ポイント）あけて、次の書式で記載して下さい（英文原稿は除く）。

フォントサイズ： 8 ポイント
フォントスタイル： 斜体（イタリック）
和文フォント： 明朝体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント： Time New Roman またはこれに準じるフォント
配 置： 左寄せ
所属機関と住所の区切： 全角空白
番号： 所属機関の前に各著者に対する数字を半角上付で付してください。

和文・欧文各々の所属機関およびその住所が 2 行以上とならないよう、詳細な部署、社名の「Corporation」等は、適宜省略願います。ただし、略記はお避け下さい。

7.3. 講演概要（Abstract）

著者名、著者所属機関から 1 行あけて、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 8 ポイント
フォント： Time New Roman またはこれに準じるフォント
単語数： 150 単語以下

7.4. Key words

関連するキーワードを最大 5 つ、以下の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 8 ポイント
フォント： Time New Roman またはこれに準じるフォント

7.5. 本文

Key Words から 1.5~2 行あけて 2 段組で本文を記載して下さい。

段 組： 2 段
段の幅： 86 mm

間隔または段間： 6 mm

7.5.1. 見出し

見出しはポイントシステムにしたがい、

1. ...
1.1. ...
1.1.1. ...

のようにして、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 9 ポイント
和文フォント： ゴシック体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント： Arial 体またはこれに準じるフォント
文字間隔または字間： 標準（Word）、1 ポイント（一太郎）
配 置： 左寄せ

7.5.2. 見出し後の文

見出し後は、見出しの次の行から、以下の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 9 ポイント
和文フォント： 明朝体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント： Time New Roman またはこれに準じるフォント
文字間隔または字間： 狭く 0.2 ポイント（Word）、または、-0.6 ポイント（一太郎）
配 置： 両端揃え

7.6. 図表

図表名、および図表中の単語、文章は英文とします。通し番号を付して（図： Fig. 1, Fig. 2, , 表： Table 1, Table 2, ）、図の場合にはその下に、表の場合にはその上に、次の例のように図表名を記載して下さい。

例： Fig. 1 Schematic of the computational domain.

図表の配置は、なるべく本文と同様に 2 段組として、本文との対応に配慮して下さい。また、本文とは 1 行以上あけるようにして下さい。図表（写真）を原稿に貼付する場合には、輸送中、印刷作業中に剥落しないよう十分御注意下さい。

参考文献

本文中の引用箇所では[1]のように通し番号で示し、本文末尾に通し番号とともに、対応する文献を次のように列挙して下さい（配置：左寄せ）。

1. 著者 1・著者 2・著者 3, 日本燃焼学会誌 56: 101-111 (2013).
2. Author1, A., Author2, B. and Author3, C., Proc. Combust. Inst. 34: 1001-1008 (2013).
3. Author1, A., Author2, B. and Author3, C., Proc. 9th ASPACC, pp. 501-504, 2013.
4. 著者名, 書名: 掲載ページ, 発刊年.

原稿の提出

原稿は、電子投稿ウェブページより、PDF ファイルでの提出をお願い致します。なお PDF ファイル作成時にはフォントを埋め込んでください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8